

南丹市地域創生会議 結果概要

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標1 「しごと」を創出し働く場をつくる

事業名：ふるさと農業創生支援事業

事業の概要	
地域資源である農業の魅力を生かし、地域展開を図るため、農村民泊事業の実施や、農家民宿や農家レストラン等の事例紹介など、起業のためのノウハウ等を講習するセミナー、相談会等を系統的に実施するとともに、地域農業の魅力を情報発信した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①4名 ②3名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・体制が整いつつあり、今後の拡大、成長を期待したい。 ・開業した農家民宿今後の開業数の増加につながる運営ができるかがポイントである。 ・地域全般的に考え、地域農業者に効果は十分考えられない。

事業名：森の恵み活用事業

事業の概要	
鳥獣害対策の担い手育成の取り組みを「しごと創出」という視点から捕獲鳥獣の食肉処理ができる人材を育成するため、獣肉解体に関する基本を学び解体現場の実演を見学する「入門編」、獣肉処理から流通までを学ぶ「実習編」を実施した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①2名 ②6名 ③0名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿等による農業等への被害は大きく、必要な取り組みであり、評価できる。 ・狩猟者が高齢化により減少する中で狩猟者養成が広範囲な面から必要である。

事業名：サテライトオフィス誘致事業

事業の概要	
美山町大野地域をモデル地域とし、地域経済の活性化、地域雇用の促進を図るため、地域の空き家を活用したサテライトオフィスの誘致事業を展開。紹介ツアーでは29社38人が参加、4社の事業提案を受けることができ、結果2社の進出が決定した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①2名 ②4名 ③1名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・実績は高く評価するが、費用対効果が悪いのでは。 ・農村地区に大企業誘致はなかなか難しいと思うが、地元雇用につなげる策、企業進出により、その地域の活性化やアピールにつながる策が必要では。 ・今後も誘致は必要であり、事業費、誘致方法を検討する必要がある。

事業名：販路拡大支援事業

事業の概要	
市内に立地する企業等に対し、国内外で開催される展示会・見本市等への出展を後押しし、新規取引先の獲得等、販路拡大につながる支援のため、販路開拓支援事業補助金を32件交付するとともに、販路拡大に向けたセミナーを開催した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①6名 ②1名 ③1名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の販路拡大支援の施策を新たに設けた点に意義があり、効果があったと評価できる。 ・PRの方法等が必要である。 ・効果を論じるにはまだ早いかもしれないが、費用対効果が悪いのでは。

事業名：むら・ひと・しごと創生モデル事業

事業の概要	
地域団体が自主的に行う事業で、特徴的な地域資源を活用した起業の仕組みがあり、定住促進に大きな効果が見込める事業に対し交付金を交付。6名の起業希望者の受け入れとなった。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①4名 ②3名 ③1名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を生かした取組で、実績も出ており、独自性もあり、期待できるのでは。 ・若者とのシェアハウスは府も進めているので注目したい。 ・6人の起業者があったことは喜ばしい。今後、農林業の新規就業者を望む。

基本目標 2 南丹市への人の流れを増幅させる

事業名：空き家等調査事業

事業の概要	
市内の空き家の実態を正確に調査し、それらの結果をデータ化するとともに、区長との連携により地域に危機感を与え、所有者や地域に積極的な空き家の活用を呼びかけることを目的として実施した。今後、空き家バンクの制度と併せて、移住者の受け入れに活用するなど定住促進の大きな柱として取り組みを進める。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①7名 ②1名 ③0名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家は年々発生し、活用できる空き家の把握等、実態調査は必要である。 ・上位目標の手段として有効であり、成果も十分。 ・成功の事例を教えて欲しい。

事業名：定住促進センター設置モデル事業

事業の概要	
定住促進の拠点として定住促進サポートセンターを設置し、移住に関する情報収集や情報発信を行っている。また、センターや、様々なサポート人材が中心となり地域の定住促進意識の高揚を図り、移住者を受け入れる地域の仕組みや積極的な情報発信ができる仕組みを整えた。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①6名 ②2名 ③0名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用、移住の促進は是非必要である。 ・定住、移住策は各市町でも取り組み始めており、市独自の制度などをアピールして差別化が必要。 ・現状分析し、それを踏まえて目標の情報を修正すべき。

事業名：ホームページ多言語等対応改修事業

事業の概要	
外国人観光客が増加傾向にあり、海外へ向けての情報発信を強化する必要があるため、市ホームページの多言語化を行い、外国人観光客等の誘客を図った。また、スマートフォン表示対応を行うとともに災害時の情報伝達に役立つ緊急情報ページを新設した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①3名 ②2名 ③2名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的に見て重要な取組。 ・多言語表示の場合は、コンテンツを観光など必要とされる情報に絞っていいのでは。 ・更新の費用対効果を含めた中期的展望が必要。

事業名：無線LAN設置支援事業

事業の概要	
地域経済及び地域社会を活性化することを目的として、外国人観光客等が無料で利用できる公衆無線LANを新たに設置する事業者に対して、設置に要する経費を助成した。設置施設数は宿泊施設21、飲食施設12、物販施設14、その他施設3の計50施設であった。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①6名 ②1名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・待ちの補助金でなく、戦略的に設置が必要なところに重点的に設置することが必要。 ・人口増、定住には効果は期待できない。

事業名：美山川魅力創出調査事業

事業の概要	
由良川水系の上流、通称「美山川」において、美山川を観光振興に活用するため遊漁者調査等河川に係る調査を行い、美山川を活用した新たな観光づくりの情報発信、特産品の商品化を目指し水産加工品の開発を進めた。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①3名 ②4名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り客の高齢化への対応を。調査がやりつくせたか、不十分ならさらなる調査を。 ・鮎の友釣教室等、一定の成果は見られる。今後の継続性が課題。 ・水質、カワウ被害、鮎苗の調査が大事。

事業名：多言語観光パンフレット作成事業

事業の概要	
既存の観光パンフレットを拡充するとともに、近年増加傾向にある外国人観光客向けに英語版、中国語版のパンフレットを作成した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①4名 ②3名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・言語別に表紙の色を変えるとかしないと同時に並べると間違いやすい。 ・必要性はあり、有効性も一定あると思うが、PDFのダウンロードでもよいのでは。 ・広告による収入を図るなど、公費を投入せずに発行できる方向の検討が必要。

事業名：多言語観光看板設置事業

事業の概要	
海外を含む観光客等の利便性を向上させるため、市全域の観光ポイントを多言語（日本語、英語、中国語）で紹介する観光案内看板をJR園部駅西口、道の駅京都新光悦村、美山かやぶきの里に設置した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①6名 ②1名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・案内は見やすく、分かりやすい工夫が必要。 ・かやぶきの里の看板は好評。 ・必要な事業であるが、定住、移住には十分な効果はない。

事業名：観光イベント振興事業

事業の概要	
園部の地にゆかりのある武部源蔵にスポットをあて、日本三大歌舞伎の一つである「菅原伝授手習鑑」に登場する武部源蔵役を演じた、歌舞伎俳優 尾上松也氏を招き、トークショーと舞踊を開催した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①0名 ②2名 ③4名 ④2名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者が市内中心になっていると思われる。南丹市への人の流れを増やすことにつながったか疑問。 ・必要な事業であるが、定住、移住には十分な効果はない。

事業名：森の観光拠点整備事業

事業の概要	
道の駅美山ふれあい広場を中心として、新商品開発や商品パッケージ作成のための現状分析と調査、道の駅を活用した4つの回遊システムや宿泊商品づくりを行うとともに、新規国定公園の指定、エコツーリズムの推進、インバウンドの増加などの好条件を活かして道の駅の活性化を図るため、観光客へのサービス向上や交流イベント開催などに取り組んだ。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①4名 ②2名 ③0名 ④2名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の満足度を高める又は維持するには、工夫を継続していくことが必要。 ・実際には効果があるのかもしれませんが、費用対効果が悪いと判断する。

事業名：案内看板整備事業

事業の概要	
市全域の観光ポイントをわかりやすくするため、多言語（日本語、英語、中国語）観光看板をJR日吉駅に設置し、市内の観光地を広くPRした。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①5名 ②2名 ③0名 ④1名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り換えの時間が少ないので、あまり活用されていないような気がする。 ・効果が分かりにくいのが有効であったと思われる。

基本目標3 若い世代の夢をかなえる

事業名：子育て情報発信事業

事業の概要	
子育て世代に見やすく便利な情報を提供することで、子育て世代に寄り添い、子育てしやすい環境を整え、少子化に歯止めをかけるため、子育てに特化した行政サービス情報を発信するホームページを整備した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①3名 ②4名 ③1名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・公開期間が短かったが、アクセス数は多く、評価できる。 ・情報更新により使えるサイトとしての維持が必要。 ・必要で有効と考えるが、あまり費用をかけずにユーザーの声も集め、活かしてほしい。

基本目標4 誰もが安心して暮らせる地域をつくる

事業名：地域活性化・定住促進リーダー養成事業

事業の概要	
地域活性化や定住促進に向け、地域を盛り上げる中心となる地域のリーダー候補を養成するため、様々なニーズにあった6分野の人材育成セミナーを開催し、11名がすべてのセミナーに参加した。今後のリーダーとしての活躍を期待している。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①6名 ②1名 ③1名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・長期のビジョンを考えれば重要な事業であり、評価できる。 ・育成した11名の今後のサポートは重要。 ・若い女性が料理教室や、IUターン者との交流をされていて良い。 ・地域のリーダー養成は必要であり、方法等が問題。

事業名：南丹市版小さな拠点づくり事業

事業の概要	
小学校再編等で閉校となっている旧学校施設について、地域の新たな拠点として利活用を推進するため、施設整備及び備品購入、用途変更のための敷地内の地区計画の策定を行った。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①4名 ②2名 ③2名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・団体は設立されており、今後は活用法を考えて有効に活用していくことがポイント。 ・必要な事業ではあるが、今後、地元団体をどう結成し、その後も続くシステムを醸成できるかが課題では。少子高齢化も進むなかで心配。

事業名：バスマップ作成事業

事業の概要	
バス路線について、これまで詳細なマップがなく、市内在住学生や観光客等の利用減少の一因となっていた。そのため、乗り換え案内や、観光地の写真を加えた分かりやすいバスマップを新たに作成した。	
評価結果	各委員からの主なコメント
①5名 ②2名 ③1名 ④0名 ⑤0名	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語化の検討を。 ・公共交通の利用促進も必要。高齢者対策としても。 ・車社会の中で、利用者増を図るには、利用しやすいルートや、バス利用に頼らざるを得ない人の利便性を図ることも必要。